

令和7年度 次世代創出PBL推進事業  
**実施報告書【学校課題実践校用】**

学校番号	46
学校名	富山県立高岡支援学校

学校の現状と課題	<p>小学部・中学部・高等部の3つの学部があり、250名の児童生徒が在籍している。一人一人の障害特性に違いはあるが、ダンスやピラティス等音楽に合わせた運動が好きな児童生徒が多く、昨年度もこの事業を利用してダンスやピラティスの講師を招聘し活動を行った。昨年度の活動を振り返り、各学部からは児童生徒の興味関心が非常に高かったこと、今後も身体表現のスキルの向上を目指したいという意見が大半であった。課題としてはダンスやピラティスの楽しさをより多くの児童生徒が理解し、余暇の意思決定の一つとして取り入れることや将来の余暇の充実のため、家庭への般化を進めていきたいということがあった。今後はダンスやピラティスの専門家を招聘したワークショップの回数を増やし、児童生徒が身体表現の楽しさを味わい、それをきっかけに将来にわたって主体的に好きな運動を選んで取り組んだり、体力向上や余暇活動の充実につなげたりしていきたいと考える。</p>	
テーマ(特色)	好きな運動に親しみ、主体的に体力向上を目指した児童生徒の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	<p>○ダンスやピラティスのワークショップを通して、児童生徒は意欲的に講師の示範を見ながら活動できた。毎年身体を動かすことに慣れ、ダンスやピラティスで笑顔で元気よく取り組む姿が多く見られた。好きな運動の時間を作ったことが根拠かは分からないが、中学部、高等部については、昨年度より体調不良による欠席日数がかなり減少している。(4月～1月末)</p> <p>○体育、自立活動の授業で体力向上教材を使用することでバランス感覚や体幹が向上した児童生徒が増えてきている。</p> <p>○保護者との懇談会等で紹介することで、家や地域でもスポーツに親しむ家庭が増えてきている。</p>	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>○ダンス ワークショップ実施回数(1回45分 全14回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部 6回 中学部 4回 高等部 4回</li> </ul> <p>○ピラティス ワークショップ実施回数(1回45分 全6回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部 2回 中学部 2回 高等部 2回</li> </ul> <p>○体育や自立活動の学習活動の中で、各学部の実態に合わせた体力向上教材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部…的当て、バランスを養う運動教材、ヨガマット</li> <li>・中学部…トランポリン、ストレッチポール、バランスボール等</li> <li>・高等部…ラダー、サッカーボール、風船バレー等</li> </ul> <p>○毎日の連絡帳、学期末の保護者との懇談会等で、ダンスやピラティスを行っている様子を紹介し、家庭と連携しながら運動に親しむ機会が増えた。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>○ダンス・ピラティス ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンス 昨年度に引き続きダンスのワークショップを行う他、運動会や学習発表会の舞台発表にも取り入れることで、昨年度よりダンスの機会が増え、難易度の高い振り付けにも適応できる児童生徒が増加した。ワークショップを心待ちにする様子や、笑顔で主体的に取り組む姿が随所に見られた。生徒の中には、家庭の協力を得て地域のダンススクールに通い始めるなど、日常生活の中に楽しみを見出し、ウェルビーイングの向上につながっている例もある。また、ダンスが得意な児童生徒が周囲から認められることで、自己肯定感を高める貴重な機会となった。</li> <li>・ピラティス 講師のポーズを注視し、自分の体の動きを意識しながら楽しく体験することができた。十分な運動量を確保することができ、心地よい汗をかきながら活動に没頭する姿が多く見られた。</li> </ul> <p>○体力向上教材</p> <p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨガマット・バランス教材：マット上でのポーズや片足立ちなどの「静止ポーズ(10秒間の姿勢保持)」を継続したことで、自分の体をコントロールする意識が高まった。その結果、学習時の座り方や挨拶の姿勢が改善されるなど、日常生活への波及効果が見られた。</li> <li>・的当て：ゲーム性の高い教材により、運動への苦手意識がある児童も意欲的に参加できた。「狙って投げる」動作を通じて、目と手の協調運動(コントロール力)の向上が図られた。</li> </ul> <p>【中学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリン・バランスボール：音楽に合わせたリズム跳躍や上下運動をルーティン化することで、楽しみながら体幹(インナーマッスル)を刺激した。これにより、授業中に椅子に座り続ける持久力が養われた。</li> <li>・ストレッチポール：身体のリラックスだけでなく、気持ちの切り替え(オン・オフの調整)にも有効でした。</li> </ul> <p>【高等部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラダー：廊下や教室などの限られたスペースを有効活用し、天候に左右されず安定した運動量を確保できた。素早い足運びを意識することで、巧緻性と瞬発力の維持・向上につながった。</li> </ul>	
対象者(学年・人数など)	小学部全児童(132名)、中学部全生徒(55名)、高等部全生徒(63名)	
実施実績	4月	ダンス・ピラティス講師の選定
	5月	ダンス・ピラティス講師と各学部との日程調整 体力向上教材の購入
	6月	ダンス・ピラティス講師招聘のワークショップ 体力向上教材の購入を利用した学習活動
	7月	↓
	8月	↓
	9月	↓
	10月	↓
	11月	↓
	12月	↓
	1月	↓
	2月	まとめと振り返り
	3月	